



- かんがえる子（知）
- おもいやりのある子（徳）
- たくましい子（体）

3学期始まる～1年のまとめをしっかりと～

1月11日（木）から3学期が始まりました。令和6年の始まりは、能登半島地震や羽田空港の航空機事故など、亡くなられた方、怪我をされた方、避難所での生活を余儀なくされている方などが多数出る大変辛い状況となってしまいました。

3学期の始業式の校長挨拶では、まず地震による被害のことを伝え、私たちにできることは次の2つであることを話しました。

- ① 被災地について常に気にかけて、辛く悲しい思いをしている方々に頑張してほしいという気持ちをもちながらこれからの復興の様子をみつめていくこと。
- ② 私たちがいつもと変わらず普通に生活できることのありがたさを感じながら普段やるべきことにしっかりと力を注ぐこと。

この話を受けて、放送委員会の子供たちは、朝の放送で新聞に掲載されている被災地の情報を紹介するなどしています。被災地のことを思い、みんなで気をつけようとする気持ちが伝わってきてとてもうれしい姿が見られています。

また、始業式では児童会長の深澤皇太さんから全校で頑張ることとして、「目を見て、相手がうれしくなる挨拶を当たり前ができるようになること」「相手の気持ちを考えてみんなで仲良く過ごすこと」が話されました。

1年のまとめとなる3学期も子供一人一人の力を高めていけるよう職員一丸となって指導、支援してまいりますので、引き続きのご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

冬休み作品展

1月12日（金）から17日（水）まで冬休み作品展を行いました。今回の作品展も夏休みと同様の力作ぞろいで、2階のホールに展示した作品をみんなで鑑賞して楽しむことができました。



写真の作品は5年角掛芽衣紗さんが作った「カライドサイクル」です。写真で紹介しているように中心を押すか引くかして回転させて4つのパターンの図柄を楽しむことができます。素材は牛乳パックで、仕掛けを作ることや図柄の組み合わせを考えることに根気強く取り組んだのだろうと想像します。保護者の皆様には、夏休みの作品と同様、子供たちの取組に対してのご支援に心より感謝申し上げます。

安全朝会

1月23日（火）に安全朝会を行いました。毎学期の始めに行っている安全朝会ですが、いつも子供たちの安全を見守ってくださっているスクールガードのみなさんから交通安全に関するお話を直接聞くことのできる貴重な集会です。この日は2名のスクールガードの方から冬の登下校にかかわるお話をいただきました。下にそのお話を紹介します。



角掛勘次三 さん…冬の道は滑りやすくなっているので、転ばないように注意して歩きましょう。

蓬田 和子 さん…バス停での待ち方がとてもよいです。雪が降る季節は少し早めに家を出るなど時間に余裕をもって行動しましょう。

一本木中学校体験入学&一本木保育園学校見学

タイトルにあるように、3学期は、新年度に向けて新たなステージとなる中学校や小学校を見学する機会を設ける時期でもあります。

1月23日(火)は、本校の6年生が一本木中学校へお邪魔し、中学生の授業を参観したり、学校生活についてなどの説明を受けたりしました。中学校で新たに取り組む部活動や一本木さんさの取組など、自身の可能性をさらに広げるステージがすぐ目の前に迫っています。



また、1月25日(木)は、一本木保育園ひまわり組10名の園児が小学校の見学に来ました。2年生から6年生までの学習の様子を見学し、その後は1年生の子供たちが学校での過ごし方について紹介をしたりおはじきで遊ぶゲームを一緒に行ったりしました。園児のみなさんは少し緊張した様子でしたが、「ランドセルは〇色だよ。」と教えてくれるなど小学校への期待を膨らませていました。

お知らせ

◆「一本木小学校記録DVD」をお貸しします◆

PTAのOBの方から平成6年度に行われた「新校舎落成記念式典及び祝賀会」と「祝賀会準備」、平成12年度に行われた「創立百周年記念式典及び祝賀会」と「祝賀会準備及び森の家建築」のDVDを寄贈いただきました。

時が経っても、このように一本木小学校に思いを寄せてくださっていることをとても有難く思います。寄贈いただいたDVDは今後のPTA活動を含めた学校のさまざまな取組に活用させていただきます。

さらに地域の方々にもお貸ししたいと考え、複数枚コピーしています。貸出を希望される方は、榊副校長(688-4253)までご連絡ください。

◆小正月の行事◆

一本木地区には、写真のように石碑が建てられている場所がいくつかあります。1月15日から16日にかけて、お盆の上に鏡餅を乗せてお供えをしている光景を見ました。お供えをしていた方にお話をお聞きしたところ、それぞれのお家で決まった神様(石碑)があり、代々正月と小正月にお餅を供える風習があるとのことでした。小正月の行事には様々な意味が込められているようですが、この1年を無病息災で過ごせるようにという願いも込められているようです。地域で昔から大切に継承されている伝統を守り続けていることが素晴らしいことだと感じ紹介しました。

